

平松尚樹さん(画家)

矢崎泰久の 友達紀行 ⑫



『話の特集』を創刊して間もなく、和田誠さんに紹介されて平松さんと出会った。今から60年近く前のことである。当時は多摩美術大学を卒業されたばかりで、早川デザイン事務所 of グラフィック・デザイナーだった。平松さんは大阪生れで、訛りが強かったが、柔和で澄んだ眼をした好青年だった。

雑誌にイラストレーションを描いて参加してもらったが、タッチは画家のものだった。年齢は私より七、八歳若かったが、気が合ったのはギャンブル(競馬・麻雀)好きだったからである。私は狂の字が付くタイプだったが、平松さんはスマートなギャンブラーだった。

長い付き合いだから、いろいろあった。最近では、私の教え子こぼやしゆかが絵本を企画した時に、平松さんに絵を描いてくれるように頼んだ。快く引き受けて下さり、『はさみ』『のり』『くれよん』の三部作が出来上がった。素晴らしい絵本が誕

生したのだが、今の出版界には、通用せずに苦戦をしている。日本が墮落していることを、二人で嘆き悲しんでいる今日この頃である。

文 矢崎泰久 Yasuhisa Yazaki

1933年東京生まれ
新聞記者を経て1965年『話の特集』創刊
現在はフリージャーナリスト作家。
著書に『口きかん』(飛鳥新社)、『話の特集』と仲間たち(新潮社)
『あの人がいた』(街から舎)、『句々快々』(本阿弥書店)
『バカまるだし』、『ふたりの品格』(共に永六輔と共著・講談社)
『人生は喜劇だ』(飛鳥新社) 他多数。
テレビ・映画・ステージのプロデューサーとして活躍。

写真 小山茜 Akane Koyama

1981年大分県生まれ
写真家。国内外で幅広く活躍。
2015年パリ・マドレーヌ寺院「恒久平和展」展示
2016年「第10回モナコ・日本芸術祭2016」展示
芸術創造賞受賞
常識にとらわれない映像作家。
多岐にわたる撮影活動を続けている。